

平成25年3月22日
於
府中市立教育センター

平成25年第3回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成25年第3回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成25年3月22日(金)
午後1時30分
閉 会 平成25年3月22日(金)
午後2時56分
- 2 会議録署名員
委 員 村 越 ひろみ
委 員 松 本 良 幸
- 3 出席委員
委員長 崎 山 弘 委員長職務代理者 齋 藤 裕 吉
委 員 村 越 ひろみ 委 員 松 本 良 幸
教育長 浅 沼 昭 夫
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 吉 野 寿 一 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史
教育部副参事兼指導室長 文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長
小 椋 孝 町 田 昌 敬
総務課長 澁 谷 智 文化振興課長 酒 井 利 彦
総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹 文化振興課長補佐 時 田 浩 一
月 岡 敏 浩 ふるさと文化財課長補佐 谷 本 耕 一
学務保健課長 中 村 孝 一 生涯学習推進担当副主幹 茂 木 孝 之
学務保健課長補佐 市 川 直 次
給食担当副主幹 須 恵 正 之
指導室長補佐 桑 田 浩
統括指導主事 瀧 島 和 則
指導主事 国 富 尊
指導主事 大 津 嘉 則
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 熊 坂 奈 美
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第8号議案

府中市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

第9号議案

第6期府中市生涯学習審議会委員候補者について

第10号議案

平成25・26年度府中市スポーツ推進委員候補者について

第11号議案

府中市教育委員会事務局職員の人事異動について

第12号議案

府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程

第4 報告・連絡

- (1) 就学時健康診断受診結果について
- (2) インフルエンザ様疾患の罹患状況について
- (3) 平成25年度府中市学校給食会事業計画及び給食費会計予算について
- (4) 南白糸台小学校情緒障害通級指導学級新設の状況について
- (5) 府中少年少女合唱団第30回定期演奏会について
- (6) くらやみ祭画景展の開催について
- (7) 第5期府中市生涯学習審議会答申について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（崎山 弘君） ただいまより、平成25年第3回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 本日の会議録署名員は、村越委員と松本委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 本日は、追加議案も含めまして議案が5件ございます。このうち第11号議案は人事案件ですので、非公開扱いとし、議事進行の都合上、最初の審議としてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

_____ ◇ _____

◎第11号議案 府中市教育委員会事務局職員の人事異動について

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） それでは、定例会を再開いたします。

傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（崎山 弘君） 傍聴の方に申し上げます。

大変お待たせいたしました。教育委員会は午後1時30分から開会いたしましたが、本日の第11号議案が人事案件でしたので、非公開で行わせていただきました。

ただいまから、公開で再開いたします。なお、第9号議案と第10号議案につきましては、資料に個人情報に記載されておりますので、該当する部分の記載を省略させていただいておりますので、ご了承願います。

_____ ◇ _____

◎第8号議案 府中市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

○委員長（崎山 弘君） それでは、議案審議に入ります。

第8号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（崎山 弘君） 説明をお願いいたします。

○総務課長（澁谷 智君） ただいま議題となりました第8号議案、府中市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について、お手元の資料に基づきご説明いたします。

1枚おめくりいただいて、新旧対照表をごらんください。部活動について規定している第19条でございますが、現在は中学校に限定しております。この「中学校」の文言を「学校」と改めまして、小学校においても同条の規定が適用されるようにするものです。中学校新学習指導要領においては、授業時間外の部活動については、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意することと新たに明記されたところがございますが、小学校における特

別活動の授業で、クラブ活動とは別の授業時間外の部活動については特に位置づけが明文化されていない状況でございます。この小学校における部活動についても、教育活動の一環として捉え、教員や指導員等に関して適切に処遇できるようにするため、今回改正するものでございます。

附則として、この規則は平成25年4月1日から施行します。

説明は以上です。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。特にございませんか。

私からちょっとお伺いしたいのですが、小学校の部活動で何か定義みたいなはっきりしたものがあるのでしょうか。学校の認可している部活動とどっちがどれに対して認可するかという定義みたいなものはございますでしょうか。

○指導室長(小椋 孝君) 今のお話にあったところ、小学校の部活動と中学校の部活動と分けた規程はございませんが、今、申しました中学校の学習指導要領に明文化されたように、同じ志というか同じ趣味とか、同好のそういうことがあった子たちが集まって、課外にそういう活動、文化スポーツに関する活動で趣味を伸ばしたり、お互いの関係を伸ばしたりとか、そういうことが中学校のほうに明記されているところでございます。

小学校の学習指導要領には、クラブ・部活動という形で同様の記載がございまして、文科省の資料等を見ましても、小学校の総合運動部活動、期間的にサッカーやって、水泳やってとかそういう形でも構わないということが出ておりますので、要は学校が、教育課程の中に入らないのだけれども、管理下において責任を持って子どもたちを管理指導していく中で、そういうスポーツとか文化の面でより力を伸ばしていきたいというものでございます。

ですので、地域で活動しているものとか、保護者会が主体で活動しているところから一線を画すものではございますけれども、実態としまして例えばタグラグビーとか和太鼓、そもそもクラブ活動週1回程度の活動で始まったところに端を発しているのですが、実は放課後とか朝たくさん練習をしていたりしているところがございますので、そういうところの面で、正直言いますと、学校のほうからも、小学校でこれを部活動扱いにしていただければ、子どもたちに関する責任がしっかり明文化されるのと同時に、スポーツ振興センターの対象にもなる、また先生方の土日の勤務も職務として位置づけることで、しっかり振りかえをとったり、超勤手当の対象になったりするんで、そのような形がとれないのではないかとということでお話がありました。

ただ、どの学校でも部活動が置けるというものではございませんので、やはり学校として継続的に指導者がついて、運営できるということが大きなところになっているかと思っておりますので、小学校の校長会でも2回説明をしましていただいております。

ですので、長くなって恐縮ですが、同じタグラグビーでも、フォーリスカップの前に、試合に際して出ようというところと、名前挙げて恐縮ですが、白糸とか南白みたいに通年を通じてやっているところでは、おのずと位置づけが違いますので、同じことでもクラブでやるところと特設クラブ、部活動という位置づけでやるというところは、それぞれ学校長の判断で、こちらはもちろん相談に乗りますが、やっていくところでございます。

○委員長(崎山 弘君) ありがとうございます。実際、明文化されるとどこまでがという話

が出てきそうな気がしますが、実態になるべく合うような形で運営していただければ構わないのではないかと、私は思います。

ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員(齋藤裕吉君) 小学校での活動の実態を見ますと、今、例で挙げたもののほかに、例えば合唱クラブとか鼓笛クラブとか、そういった活動は結構各学校で行われているかと思うのです。これはどういう位置づけだろうと思いつつ、土日、子どもたちを引率して、事故のないようにということをはたす願いながら参加させるということがよくあったのですけれども、そういった活動、これはもう子どもたちは年間通じていろいろ練習したものの成果を、例えば何々地区音楽祭とか、そういう形で参加発表しているという、そういったふうなものもこの対象として考えていけるということになるということによろしいですね。

そうしていただくと、今、お話のように指導者側としても、あるいは管理をする立場の校長等の立場から考えても、とてもよいことかなと思いますので、ぜひそのように進めていただくとよろしいかなと思います。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご意見ございますでしょうか。

では、お諮りいたします。第8号議案、府中市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について、決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案のとおり決定いたします。



◎第9号議案 第6期府中市生涯学習審議会委員候補者について

○委員長(崎山 弘君) では、第9号議案の朗読をお願いいたします。

(事務局朗読)

○委員長(崎山 弘君) 説明をお願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君) それでは、ただいま議題となりました第9号議案、第6期府中市生涯学習審議会委員候補者につきましてご説明いたします。恐れ入りますが、議案の2枚目をごらんください。

生涯学習審議会委員につきましては、府中市生涯学習審議会条例及び同施行規則に基づき設置されました非常勤特別職としておまして、教育委員会の諮問に応じて、市民の生涯学習の振興に関する事項について調査、審議し、その結果を答申し、またみずから建議することができる機関となっております。任期は平成25年4月1日から平成27年3月31日の2年間となっております。定員は15人以内となっております、今回は8人が再任、6人が新任でございます。ただし、学校教育関係者につきましては、慣例で4月の校長会におきましてご推薦いただくこととなっております。

説明は以上でございます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○委員長(崎山 弘君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。

○委員(松本良幸君) 生涯学習について審議される方々ですけれども、おおむねの年齢構成範囲というのはどのような方々になっていらっしゃるのでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君) 今回の第6期の年齢構成ですが、まず40代の方が1名、50代の方が2名、60代の方が5名、70代の方が6名となっております。あと、

校長先生がまだ入ってございませんので、この14名となりますが、その14名の平均で66.1歳となっております。ちなみに、前回の第5期の平均が15名で68.2歳ということになっております。

以上でございます。

○委員（松本良幸君） ありがとうございます。おおむねリタイアする時期ぐらいが一番力が入るといふ形になるとちょうどいい年齢なのかなということですので、ぜひ頑張っていたきたいと思っております。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問ございますでしょうか。

何かご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、お諮りいたします。第9号議案、第6期府中市生涯学習審議会委員候補者について、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（崎山 弘君） 全員異議なしですので、原案のとおり決定いたします。



◎第10号議案 平成25・26年度府中市スポーツ推進委員候補者について

○委員長（崎山 弘君） 次に、第10号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（崎山 弘君） 説明をお願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） それでは、ただいま議題となりました第10議案、平成25・26年度府中市スポーツ推進委員候補者につきましてご説明いたします。恐れ入りますが、議案の2枚目をごらんください。

府中市スポーツ推進委員につきましては、府中市のスポーツ振興を目的として設置された非常勤特別職として、教育委員会の委嘱を受け、市民のスポーツ活動の振興を図り、スポーツについての啓発や理解に努め、市と市民のスポーツ事業に関する指導及び助言を行うことなどを職務としております。任期は平成25年4月1日から平成27年3月31日の2年間となっております。定員は25人以内となっておりますが、13人が再任、そして新任の方が2人就任いたしまして、合計15人となっております。

説明は以上でございます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○委員長（崎山 弘君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。村越委員。

○委員（村越ひろみ君） 先ほどと同じように、年齢がどれぐらいの方たちなのか、あと再任の2年が1期で、何期まで大丈夫というかそういう期限があるのかどうかということ、あと、具体的な活動、どんな活動をしているのかを教えてくださいたいと思います。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） まず、年齢構成ですが、今回の15人に関しましては30代が1人、40代が3人、50代が6人、60代が5人となっております。それと任期ですが、こちらにつきましては、定年制を敷いておりまして、65歳までの間にできる限り、できる範囲での年数で活動していただいておりますが、今回の委員の中で、最長が24年という方がお1人いらっしゃいます。あとは16年とか18年とか、長い間活躍していただいている方もいらっしゃいます。

それと活動内容ですが、この推進委員の方々、地域にいろいろ担当を持っていただいて、主に各文化センターとか、地域体育館などにおいて、各種スポーツに関する指導とか助言を行ったりしております。また、府中市ではミニスポーツといったラリーテニスとか、そういったスポーツがあるのですが、そういった普及の活動などを行っている……。

以上でございます。

○委員長(村越ひろみ君) ありがとうございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご質問ございますか。

齋藤委員。

○委員(齋藤裕吉君) このスポーツ推進委員の方々の仕事と体育協会、こういった連携といたのでしょうか、これはどのような形なのでしょうか。つまり、イメージとして例えば体育大会が市でございますよね。そういったときに、こういった方々が何かの形で参加、あるいは協力する、連携するという、その辺のイメージを持ちたいと思いますので、お話いただけませんか。

○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君) 体育協会とスポーツ推進委員さんなのですが、体育協会につきましては、市民体育大会を初めとする競技スポーツの運営といたしますか団体の統括等をしております。スポーツ推進委員さんは、一方そういう団体がございますので、ふだんスポーツに親しむことの少ない方ですとか、そういった方を対象にどんどんスポーツをしていただくというような活動の仕方をしておりますので、対象にしている方たちが若干違うということがございます。

市民体育大会の開会式等にはご出席いただいているのですが、直接その競技のお手伝いをいただくというようなことはしておりません。イメージ的にはそのような感じです。

○委員(齋藤裕吉君) わかりました。

○委員長(崎山 弘君) ほかにご質問ございますでしょうか。

何かご意見ございますか。ないようですので、お諮りいたします。

第10号議案、平成25・26年度府中市スポーツ推進委員候補者について、決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎第12号議案 府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、第12号議案の朗読をお願いいたします。

(事務局朗読)

○委員長(崎山 弘君) 説明をお願いします。

○総務課長(澁谷 智君) ただいま議題となりました第12号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程について、お手元の資料に基づきご説明いたします。

1枚おめくりいただいて、新旧対照表をごらんください。第3条第5項は、教育委員会事務局における係長級の職について規定しているものでございますが、給食センター及び教育センターの所長の次に、句読点をつけて「技能主査」を加えます。また、第15条は、主査の職務を規定しているものですが、主査の次に「及び技能主査」を加えます。現在、用務員や給食調

理員などの技能労務職員におきましては、最高職位階層は主任となっておりますが、1つ上の係長級の職位が設置される予定であり、規程改正の依頼が人事当局からありましたので、今回改正するものでございます。

附則として、この規程は平成25年4月1日から施行します。

説明は以上です。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。

では、私から。今、説明の中にあつたもので、ちょっと聞き逃してしまいまして、この技能主査の技能の部分、どんな職種があるかも一回教えていただけますでしょうか。

○総務課長(澁谷 智君) 教育委員会関係では、用務員職、あと給食調理員などがございません。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ありがとうございます。ほかに何か質問ございますでしょうか。

ご意見はございますでしょうか。よろしいですか。

では、お諮りいたします。第12号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程について、決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎就学時健康診断受診結果について

○委員長(崎山 弘君) 続いて、報告・連絡に移ります。

報告・連絡(1)について、学務保健課、お願いいたします。

○学務保健課長補佐(市川直次君) それでは、資料1をごらんください。平成25年度就学予定者の就学時健康診断結果についてご説明申し上げます。

対象者は、男子1,233名、女子1,133名、合計2,366名で、受診者は男子1,198名、女子1,100名、合計2,298名、男女合計での受診率は97.1%となっております。未受診者は68名おります。

未受診の理由といたしましては、私市立学校入学やインターナショナルスクール入学、また就学相談、市外、国外転居などがございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

では1つ、私からすみません。受診者の総数なのですが、年度ごとに下の2の表にありますが、今年度が2,300人ちょっとということで、これから先、府中市は増えていく傾向なのでしょうか、大体同じ数で推移するものでしょうか。

○学務保健課長補佐(市川直次君) 来年度予定者2,366名でございますが、平成29年ぐらいまではこの数字で推移していきまして、29年から30年度ぐらいが若干この数字より200名ぐらい落ちるような、今、出生率のほうで、住民基本台帳のほうで見ますとそういうふうになっております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ありがとうございます。

ほかに何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

ないようですので、報告・連絡（1）について了承いたします。



◎インフルエンザ様疾患の罹患状況について

○委員長（崎山 弘君） 続いて、報告・連絡（2）について、同じく学務保健課、お願いいたします。

○学務保健課長補佐（市川直次君） 続きまして、資料2をごらんください。インフルエンザ様疾患の罹患状況についてご説明申し上げます。

今年度の学級閉鎖は1月15日から始まり、3月15日の報告まで小学校9校、24学級、中学校で2校、3学級の合計27学級で学級閉鎖がございました。学年閉鎖は幼稚園で、1園1学年でございます。

罹患状況は、1月は296名、2月は68名で、合計364名がインフルエンザ様疾患に罹患いたしました。

昨年の学級閉鎖は、幼稚園、小学校、中学校あわせまして95学級、学年閉鎖は8学年、患者数が1,314名でございましたので、本年は前年に比べまして罹患患者数が950名マイナスと大幅に減少したこととなります。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

松本委員。

○委員（松本良幸君） 大幅に減ったということですが、予防注射を受けたとか、そういうような統計とか、調査はしていらっしゃるのでしょうか。

○学務保健課長補佐（市川直次君） 昨年、一昨年と新型インフルエンザとか、A型、B型とかいろいろなインフルエンザが大変はやったのですけれども、特段ことしは予防接種を受けるとか、そういうのはうちのほうでは把握していないのですけれども、ことしの主流はB型インフルエンザということで、日ごろから皆さんマスク等着用しまして、流行のほうに敏感になっている保護者がたくさんいたということが結果ではないかなと推測しております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） 私のほうからも。全国的に今年、インフルエンザの流行は小さかったです。流行のスタートも遅かったです。今、説明あったように、やっぱりマスク、手洗いがかなり徹底したのが1つの理由かなと、私個人的には思っていますが、あと、ことしから学級閉鎖も延びたのです。これがどう影響したかというのはちょっとわからないのですけれども、幸いこれで大きな混乱もなく終わってよかったなと思っております。

ほかに何かご質問、ご意見ございますか。

では、報告・連絡（2）について了承いたします。



◎平成25年度府中市学校給食会事業計画及び給食費会計予算について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（3）について、学務保健課、お願いいたします。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 資料3、平成25年度府中市学校給食会事業計画及び給食費会計予算につきましてご説明いたします。1ページをごらんください。

1は概要でございます。府中市学校給食会では、安全でおいしい学校給食の提供を目標にしています。食材の選定では、安全かつ安心を基本とし、産地等の公表と放射性物質の検査を継続してまいります。また、生産者の顔が見える府中産野菜の積極的な活用にも努めてまいります。

調理では、素材から手づくりに努めるとともに、衛生面など環境整備を進めてまいります。献立では、安全かつ安心な食材選定や手づくり調理のもと、栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めてまいります。

学校給食は教育面からも大切な役割を担っています。そのため、学校給食運営に当たりましては、学校や保護者、地域の皆様と連携を図るとともに、栄養教諭、栄養士や調理員による授業、試食会などへの参画、給食時間における児童・生徒への巡回指導など、給食を生きた教材として活用する中で、食育の推進に努めてまいります。

また、給食センター広報紙『ランチタイムス』やホームページなどにより、食に関する啓発活動を推進してまいります。

次に、2は給食費でございます。保護者の皆様にご負担いただいております給食費につきましては、全額食材料の購入に充てておりますが、購入に当たりましては、安全で良質、そしてできる限り廉価な食材を選定してまいります。なお、給食費月額につきましては、記載のとおりでございます。

2ページをごらんください。食材費の購入につきましては、市からの牛乳代と調味料の補助金が交付されておまして、平成25年度は、牛乳代補助は1本10円、調味料の補助としては給食費月額の2.1%以内が交付される予定でございます。なお、予算要望額で見ますと、市よりの補助額は約4,638万7,000円となっております。

次に、3は給食実施計画でございます。学校数、年間の標準給食回数は、小学校、中学校ともに前年同様でございます。給食センターの稼働日数につきましても、前年同様でございます。

次に4は、衛生管理、栄養技術研修計画でございます。栄養士、調理員について記載のと通りの研修を計画しております。また、そのほかに東京都や市が開催いたしますさまざまな研修もございますので、できる限り参加してまいりたいと考えております。

これらの研修を通じて、より一層の資質の向上に努めてまいります。

3ページをごらんください。5は衛生管理実施計画でございます。毎月2回実施している腸内細菌検査を初めとする各種検査、調査を実施する中で、衛生管理を徹底し、事故防止を図ってまいります。また、食材の放射性物質の検査につきましても、使用する食材が変わる学期ごとに実施する予定で継続してまいります。

次に、6は施設及び設備の整備計画でございます。経年劣化の著しい調理場施設の整備を行うとともに、調理の安全性、衛生管理の向上のための調理機器の買い換えなどを行い、給食センターの施設整備の改善に努めてまいります。また、施設の老朽化に伴う施設整備につきましては、府中市立学校給食センター基本構想と、現在策定を進めております基本計画（案）に基づき、新施設の整備に取り組んでまいります。

主な委託関係、調理機器の購入は記載のとおりでございます。

以上が、平成25年度の学校給食会の事業計画でございます。

続きまして、平成25年度府中市学校給食会給食費会計予算につきましてご説明いたします。
4ページをごらんください。

歳入歳出予算の科目、説明区分につきましては、前年同様でございます。内容につきましては、事業計画2の給食費に挙げております数値を算出根拠といたしまして、歳入は主に、保護者から徴収いたします給食費、市からの補助金、歳出は食材料費、牛乳代等でございます。

予算合計額は8億9,622万5,000円で、前年比327万7,000円、0.9%の増でございます。また、事業計画及び予算につきましては、3月8日に府中市学校給食会理事会を開催いたしまして、ご審議いただきご了承いただいておりますこともあわせてご報告いたします。今後、保護者の皆様に対しましてもお知らせをまいります。

以上で報告を終わります。よろしく願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

村越委員。

○委員(村越ひろみ君) ありがとうございます。給食費ですけれども、学年の金額は上がってはいないですか。あと、再三いろいろありました未納の件はどういうふうになっているか、ちょっと伺いたいと思います。

○給食担当副主幹(須恵正之君) 給食費につきましては、平成21年度に改正をさせていただきまして、それ以降に改正はございません。また、未納の状況でございますけれども、平成23年度の給食費でお答えいたしますと、未納額は750万5,645円ということで、700万円台の状況でございます。平成22年度の決算時の比較では、6万6,208円減となっておりますけれども、ほぼ前年と同額という状況でございます。

未納対策につきましては、各学校にもご協力いただきまして、また再任用職員が日々戸別徴収も行っておりますので、努力して続けてまいりたいと考えています。

○委員(村越ひろみ君) 私も未納にかかわったことがあるのですが、750万というのはかなり減った額ですよ。前はもっと倍ぐらいあったかなと記憶している、倍って何年前になるのかな、5~6年前、7~8年前、そんなのではない、済みません。かなと思うのですが、多分努力の成果なのかなと。あと、いろいろ対策委員会で検討した結果なのかなとは感じます。よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご意見、ご質問……。

○委員(齋藤裕吉君) 学校給食にかかわっては、昨年ほかの市で大変不幸な出来事があったわけなのですが、食物アレルギー対策という点です。本当に日常的に十分気をつけながら、給食の実施を、また指導していかなければいけないのではないかなと思います。そういったことで、アレルギー対策というようなことも、きちんとこういう事業計画の中で押さえていくということがとても大事なのではないかなと思うのですが、項目とすると、1枚目、1の概要の中で、「学校や保護者、そして地域の皆様と連携を図る」とあるわけなのですが、ここでの連携の中身として、きょうの献立はどういう食材を使っている、当然連絡は行っているはずなのですが、それでも他市では事故があった。きちんと連絡が行っているはずが、ちゃんと伝わっていなかったという、情報の共有という点での問題が、1つああいう事故を起

こした原因と言われてもいるようですよね。ですから、そういう点で、学校や保護者等との連携という部分で、給食会事業、アレルギー対策ということもきっちりと念頭に置いた、そういう計画として進めていったらいいかなと思います。

何か考えがあれば、考えというのでしょうか、お話があればお願いいたします。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 学校給食の食物アレルギー対応につきましては、平成18年10月から府中市におきましても、献立……と配合表の配付、卵、ナッツ類の一部除去食の適応を行っております。また、飲用牛乳の除去と減額も行っております、あと、平成21年4月から果物の代替品、果物アレルギーもお子さん持っていらっしゃる方が多いものですから、その代替品として、冷凍ミカンの代替品の提供というのを行っております。

施設として、できる限りの適応を行ってまいりたいと考えておりますけれども、毎年、アレルギーにつきましては、プロジェクトチームを組みまして、検討して、さらなる対応ができればと考えております。

以上になります。

○委員（齋藤裕吉君） つくってくれる側からすると、そのようにいろいろと工夫してくださっていることはよくわかります。結局、一番大事なのは、それを盛りつけて食べる部分ですよ。食べる場所の指導のところまできちんとそういう情報が伝わっている、連携が行き届いているということが大事なのかなと思いますので、ぜひそういう点を、学校との連携という点では、配るということだけではなくして、その辺そういう視点をきっちりと共有するところを強調していきたいなと思います。そういう点で、わかっているけれどもということだと思っておりますけれども、ぜひ、その点は。去年のああいうことがありましたので、教訓をどんどん、多少でも生かさなければいけないと思いますので、そのようにして指導・連携を進めていただきたいなと思っております。

○委員長（崎山 弘君） ほかにご質問、ご意見ございませんか。

松本委員。

○委員（松本良幸君） 6番のところの施設設備の整備というところですが、今、予算が厳しいという形で全般的に聞いておりますけれども、センターにおいては計画どおり整備等していただいているという状況でしょうか。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 新施設の建設のところにつきましては、計画に基づきまして今現在進めているところでございます。今の給食センターにつきましては、やはり最小限の整備ということになりますので、調理機器の安全性ですとか衛生管理の向上ということを中心といたしまして、機器の買い換えなどを最小限行わせていただいているところでございます。

以上です。

○委員（松本良幸君） ありがとうございます。ほかに……。

村越委員。

○委員（村越ひろみ君） 済みません、たびたび。給食の実施計画、3番のところ、中学校の178回、「学校の要望や行事等により増減があります」とありますが、今、結構夏休みを早目に授業を開始している学校が多く、聞くところによるとそこに給食が欲しいというような声もちょっと上がったりしているのですが、その辺はどのようなことになっているか、ちょっと伺えればと思います。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 給食の実施の計画につきましては、毎年校長会のほうとご相談をさせていただきまして、給食センターの稼働日数の中で調整を各学校していただいているところでございます。中学校につきましては、今現在、もう8月の末から給食開始ということになっておりますし、また小学校につきましても、25年度につきましては9月の最初からという形で給食が、やはり早く開始になっている状況でございます。

○委員（村越ひろみ君） ありがとうございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

私から2点、まず初めに3ページの腸内細菌の実施、衛生管理のための項目がございますが、これは法令に基づいて行っているのがこの項目という意味でしたでしょうか。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 定期的に今後、決められた検査というのはこの腸内細菌の実施のところになります。

○委員長（崎山 弘君） 最近、ノロウイルスとかロタウイルスとか、それも迅速診断ができるようになりました。これも実は健康保菌者というか持っている人がいるというのがもうわかっていることなので、予算のかかることなのですが、こういうノロとかロタに関してもできれば定期的に調べていただけるとありがたいかなと、医者としてちょっと思っているわけです。これは要望です。

もう1件。アレルギーに関してなのですが、どうしても隣の市の出来事がありました。アレルギーを持っている子がいて、アレルギーを持っていない子がいて、それぞれ別の給食がある。それが配膳される。どうしても動線は重なってしまうわけです。事故をなくするために、一番シンプルな方法は、構造的にそれがなくなってしまうえばいいということです。実際、保育所のレベルではありますが、いっそのことアレルギーを起こす食材を使わないというやり方もあるのです。これはすぐに実行できるものではありませんが、先ほどプロジェクトチームがあるということなので、ぜひ牛乳とか卵をなるべく使わなくて、安全でおいしい食事という献立ができないものか、そういうこともぜひこれからプロジェクトチームで考えるべきかなと私は思います。

そうなるとうちでも和食がふえるので、最近の子どもたちの好みにはちょっと合わない。残されてしまっても困るという事実はあるのですが、その中でも、和食の中でも子どもたちが好むような味は多分あると思うのです。そこら辺をぜひ研究していただいて、きょうも食材にもともと牛乳と卵が入っていない、牛乳はもととも単品で飲む牛乳は避けるのは簡単だからいいのです。副食です、形が見えないからしてまざるもの。そういうことをなるべく避けるというのが、実は安全な給食に結びつくことなのです。構造的にそういうものが入らないという献立をぜひ、これからプロジェクトチームで考えて実践していただければありがたいかなと考えております。これも要望です。

ほかに何か意見、ご質問ございますでしょうか。

では、報告・連絡（3）について了承いたします。



◎南白糸台小学校情緒障害通級指導学級新設の状況について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（4）について、指導室、お願いします。

○指導室長補佐（桑田 浩君） それでは、南白糸台小学校への情緒障害通級指導学級新設の

状況について、お手元の資料4に基づきまして、報告、説明いたします。

本件につきましては、12月の協議会でご報告させていただきましたが、府中第八小学校は、ほかの設置校に比べて、通級指導学級の学区域が広く、市内8校から児童が通っているため、通級児童数が多くなっており、また八小では施設的にも場所の確保が難しく、学級増が難しい状況にあることから、地域、バランス、施設状況を考慮して、新たに南白糸台小学校に通級指導学級を設置することとしまして、準備を進めてきたところでございます。本日はこの準備状況についてご報告いたします。

1の平成25年度の概要でございますが、通級児童数は8名、学級数は1学級、教員は2名でございます。

次に教室の配置でございますが、裏面配置図をごらんください。校舎1階東側、今年度2年2組で使用している教室をパーテーションで区切り、集団指導の教室と個別指導の教室に、2年3組の教室をプレールームに改修します。また、配置図には「FR」と図示されておりますが、フレンドリールームを職員用の準備室とし、ミーティングテーブルや書庫などを配置いたします。また、学級の設置に伴い1階絵本室、2階第二図工室、3階防災倉庫を普通教室とします。防災倉庫は校舎の外に移設しております。

次に2の平成25年度からの通級指導学級の学区域についてでございますが、府中第八小学校は、府中第二小学校、府中第四小学校、府中第八小学校、若松小学校。南白糸台小学校につきましては、府中第十小学校、白糸台小学校、小柳小学校、南白糸台小学校でございます。

続きまして、3の開設準備の状況でございますが、資料にありますとおり、八小の通級指導学級の保護者に1月に説明し、南白糸台小学校の学区域になる保護者の方に意向調査を実施いたしました。また、南白糸台小の保護者及び地域の方には2月から3月にかけて対象を分け、5回の説明会を行ったほか、新1年生の保護者説明会での説明、また学校運営連絡協議会に出席して説明し、保護者の皆様や地元の協力者の方々に学級の新設についての理解と協力をお願いしております。

工事につきましては、電気工事等2月の半ばから授業に支障のないよう、放課後や休業日に行っております。また、現在2年生の教室で使用している1階の教室につきましては、春休みに通級指導の教室へ改修工事を行います。

今回の開設につきましては、南白糸台小学校の先生方や地域の方々を初め、多くの皆様にご協力をいただきながら進めております。4月の開設に向けてさらに準備を進めてまいります。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、済みません、私から。指導教員2人と書いてあるのですけれども、この場合、南白糸台小学校の教員の定員が2名ふえるという意味ですか。

○指導室長補佐（桑田 浩君） おっしゃるとおり、小学校は通常の学級何クラスで教員定数何人、それに加えて1学級で特別支援学級の場合、この通級の場合は定員10名でございますが、学級プラス1ということですので、南白糸台小学校の教員構成がまるっきり2人ふえます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、報告・連絡（４）について了承いたします。



◎府中少年少女合唱団第３０回定期演奏会について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（５）について、文化振興課、お願いいたします。

○文化振興課長補佐（時田浩一君） それでは、府中少年少女合唱団第３０回定期演奏会につきまして、ご報告いたします。お手元の資料５、黄色いチラシをごらんください。

府中少年少女合唱団は、市が育成している音楽団体の１つで、学区や学年を超えた仲間との活動を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的として、昭和５７年に発足した歴史のある団体です。定期演奏会の開催日時は３月３１日、日曜日、午後２時３０分に開演。会場は府中の森芸術劇場ふるさとホールでございます。ことしの定期演奏会は記念すべき第３０回目を迎えます。当日指揮をしていただく岩本先生には、長年にわたりこの合唱団の指導にご尽力をいただいてまいりましたが、この３月をもちまして指導から退くことが決まっております、先生にとりましてこの演奏会が締めくくりの舞台となります。

そうした節目に当たります今回の定期演奏会に向けまして、合唱団の子どもたちも例年に増して練習に取り組んでまいりました。当日はミュージカル「CATS」や、子どものための合唱組曲等バリエーション豊かなラインアップをご用意しております。

委員の皆様には、日ごろの練習の成果をごらんいただきたくご案内申し上げます。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） 何か質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、報告・連絡（５）について了承いたします。



◎くらやみ祭画景展の開催について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（６）について、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（谷本耕一君） それでは、ふるさと文化財課からくらやみ祭画景展の開催につきまして、お手元の資料６よりご報告いたします。

ふるさと府中歴史館では、大國魂神社例大祭の時期にあわせ、本年もくらやみ祭画景展を開催いたします。この時期は、市内ばかりでなく市外からも多くの観光客が府中を訪れるため、多くの方々に府中の歴史や文化に親しんでいただくため、くらやみ祭に関する資料を展示するものでございます。

展示内容は、長年くらやみ祭を描き続けている画家綾部好男氏の墨彩画を中心に、油彩、水彩で描かれた作品３０点で、４月３０日の品川海上禊祓式から５月６日の鎮座祭に至るまでの、くらやみ祭の全貌を余すところなく描いた作品を一堂に展示いたします。現在のくらやみ祭全体を絵画で記録した歴史資料としても大変貴重な作品の展示で、新たに墨彩画５点が市に追加寄贈されたことを記念し、展示会を開催するものでございます。

期間は平成２５年４月２０日土曜日から５月６日月曜日まで、会場はふるさと府中歴史館３階会議室でございます。また、展示期間中の５月３日金曜日には、展示会場にて作者の綾部好

男氏ほかによる展示解説を午後2時から1時間程度開催する予定となっております。ぜひ委員の皆様もごらんいただきますよう、お願いいたします。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、報告・連絡(6)について了承いたします。



◎第5期府中市生涯学習審議会答申について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡(7)について、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君) それでは、生涯学習スポーツ課より、第5期府中市生涯学習審議会答申につきまして、ご報告いたします。お手元の資料7のとおり、概要を作成しましたので、そちらをごらんください。

1の趣旨でございますが、第5期府中市生涯学習審議会におきまして、平成23年5月に、教育長から受けた諮問につきまして、2年間で20回の会議を重ねた結果、平成25年3月1日に提出されたものでございます。

2の諮問内容でございますが、「府中市の生涯学習における市民と行政との協働について」となっております。

3の内容でございますが、表題につきましては、「学び合い教え合う『学び返し』～市民と行政の新たな協働を目指して～」となっており、大きく5つの提言とまとめて構成されております。

(1) 機会の提供につきましては、「学び返し」の場を醸成するために、市民が連携して気軽に協議できる場の設置や、公共施設など学習のために活用する方法を検討すべきだとしております。

(2) 指導者などの人材育成につきましては、知識や技能を持った市民の人材発掘及びその活用、またそのための情報収集力強化を図ることとしております。

(3) 学習のための企画及び講座内容などにつきましては、市民と行政との協働による学習講座など、さまざまな講座を実施し、学び合い、教え合う場への市民の参加や、各種講座の受講修了者に対する評価を行い、参加者の向上心を奨励する必要があるとしております。

(4) 組織体系の構築につきましては、市民と行政が意見交換できるネットワークの構築や生涯学習に関する情報提供が可能な相談窓口の設置について検討することとしております。

(5) 市民大学の充実につきましては、市民カレッジ構想の再確認をした上で、見直すべき内容などについて検証する必要があることとしております。

(6) のまとめにつきましては、多くの市民がまちに出て、さまざまな活動を始められる風土をつくるために、市民と行政との協働による生涯学習社会の構築など、市の積極的な生涯学習に関する方針を大きくアピールする必要があるとしております。

説明は以上となりますが、今後、第2次府中市生涯学習推進計画を進める上で、これらの答申内容を生かしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでし

ようか。よろしいでしょうか。

私から1点。この答申の全文というのはどこかで見ることにはできるのですか、インターネットで見られるのですか。

○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君) 冊子をご用意しております、つくり上げております。

○委員(齋藤裕吉君) この答申を受けて、これからいろいろな施策に生かしていくということになるとは思うのですけれども、具体的に何か直近でこういう部分に活用するとか、そういった計画というのはございますでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君) 市民大学という再確認という項目があるのですが、その中に、生涯学習の活動の情報を提供する場をつくるということが書いてあります。カレッジインフォメーションと第1次生涯学習推進計画には示されているのですが、その相談窓口的なものを、この4月から学習センター、指定管理者制度が入るのですが、それを機にその相談が定期的に行える窓口の設置をしたいと考えています。直近の主な内容としてはそういう形になります。

以上でございます。

○委員(齋藤裕吉君) 答申をせっかくいただいたものですので、ぜひ1つ1つ具体的な部分で生かしていただければありがたいなと思います。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

それでは、報告・連絡(7)について了承いたします。



◎その他

○委員長(崎山 弘君) その他ですが、何かございますでしょうか。



◎教育委員報告

○委員長(崎山 弘君) では、教育委員報告に移ります。

各教育委員の報告をお願いいたします。

○委員(齋藤裕吉君) それでは、齋藤より報告をさせていただきます。

3月18日月曜日ですけれども、午前中10時から府中市立みどり幼稚園の修了式に出席をいたしました。その場で府中市教育委員会としてのお祝いの言葉を述べてまいりました。約1時間の式でしたけれども、修了生63名、子どもたちみんな立派でした。

私が、お祝いの言葉ということで、「幼稚園は楽しかったですか」という式辞を読み上げましたところ、子どもたちが「はい」とみんな返事をしてくれたので、素直な子たちだなと感心いたしました。人の話をしっかり聞くという習慣もちゃんと身につけていて、すばらしいと思いました。小1プロブレムは起きないなということを確認できました。

それから、平原園長、教職員の皆さん、本当に熱心なご指導をしてくださっていて、その成果を見るというような思いがいたしました。

3月20日水曜日でございますが、第4回の中学生東京駅伝大会の応援ということで、皆様と一緒に参りました。私は大変申しわけありません、午前中のみのお応援でございましたけれども、女子の奮闘がすばらしかったなと印象に残っております。

ランナーがスタジアムに入ってくるたびに順位を数えて、抜きつ抜かれつという展開に大変興奮いたしました。子どもたちは大変よく頑張ったと思います。

それから、去年、のぼり旗も何もないではないかという指摘があったのですが、ことしは大変たくさんの応援用の用具をそろえていただき、とてもよかったですと思います。応援席、下から上まで保護者の皆さん、市民の皆さんがたくさん来てくださっていて、大変すばらしいなと思いました。ありがとうございました。

3月21日、きのうのことですけれども、ふるさと府中歴史館、学芸員のこだわり展示第2弾というのをやっているというお話がありましたので、参観をさせていただきました。空中写真から見た府中の遺跡ということで見せていただきました。昭和22年、アメリカの進駐軍が撮影した写真だとか、大変おもしろいというか、興味深いものがいろいろ展示されていて、しかもその説明がよくわかって、空中写真の見方ということも詳しく説明されていて、興味深く参観することができました。

平日だったのですけれども、ほかにも参観者がとても熱心に見入ってくださっておりました。大変おもしろい企画をありがとうございました。

私のほうからは以上です。

○委員（松本良幸君） それでは、松本よりご報告させていただきます。

まず、2月27日は第一小学校、わかば鼓笛隊移杖式を参観させていただきました。とても寒い日ではありましたが、児童たちは規律正しく、すばらしい演奏を校庭に響かせ、先輩である6年生から次代の鼓笛隊を担う5年生に指揮杖、楽器が引き渡されました。私も参観させていただき、とてもすがすがしい気持ちになりました。

同日、午後には教育委員会表彰式に参加しました。府中市の児童・生徒たちによる活躍や奉仕活動を知り、これからも多様な場面での飛躍と活動の継続を期待したいと感じました。

3月12日、第十中学校で行われた救急救命講習会を参観してまいりました。参加した生徒たちは練習用の人形、AEDを使用し、真剣な態度で訓練をしていました。もしもの災害や救命の場面で生徒たちの技術が力になれるよう、今後も続けていただきたいと思いました。また、ご協力いただいた府中消防署の皆様に感謝申し上げます。

3月18日、矢崎幼稚園の終業式に出席して参りました。立派な態度で修了証書を受け取る園児たちを見て、とても感動するとともに、これまでご指導いただいた園長先生を初め、教職員の皆様に感謝を申し上げたいと思います。

3月19日は浅間中学校卒業式に出席して参りました。卒業生のりりしい姿と態度がとてもすばらしかったです。とくに卒業生、在校生とも言葉と合唱の交換は感動的で、とてもよい卒業式でした。また、PTA会長のご挨拶は、浅間中の先輩として自分自身の体験を折りまぜたとても温かいメッセージでした。

3月20日は、味の素スタジアムで開催された中学生東京駅伝を応援に行ってまいりました。府中市を代表して参加した生徒たちは、これまでの厳しい練習の成果を発揮し、すばらしい走りを見せてくださいました。府中市の選手だけではなく、参加した選手全員がたすきをつなぐ姿を見て、応援する私たちにも頑張る力をいただいた駅伝大会だったと思います。

私の報告は以上です。

○委員（村越ひろみ君） では、村越からご報告させていただきます。

2月26日土曜日、スポーツ祭東京2013のデモンストレーション種目、フォークダンスの交流会がありましたので行かせていただきました。フォークダンスというと中学校で踊った幾つかの踊りが思い浮かんでくるのですが、それとはまた全然違った形でさまざまな国の民族舞踊というのですか、それがいろいろな種類の踊りがそのくくりの中に入るということを初めて知りました。それぞれの衣装に身をまといまして、老若男女が楽しめる本当の生涯スポーツであるのだなと感じました。10月にはダブルダッチもあるということで楽しみにしたいと思います。

2月27日、一小わかば鼓笛隊の移杖式に参りました。鼓笛隊が演奏する場面は府中の行事の中で拝見したことがあり、それだけを見ても立派さを感じ、感動していたのですが、移杖式ということで、また新たな身が締まるような思いで見させていただきました。本当に寒い日で、それでも子どもたちは寒さを見せることもなく、始まるまでの時間も静かに待って、本当に立派に演奏する姿に感動しました。また、2月の『学校だより』を拝見したところ、校長先生が「1年の締めくくりの月を迎えて」という題で書かれていたのですが、鼓笛隊は一小の特色ある教育活動の柱であること、鼓笛隊を継続していくことは大きなエネルギーが必要であること、また保護者や地域の協力が欠かせないこと。そして、かかわる教師の方も、本当に他校にない仕事をしていることなどを書かれていました。そして、何よりも子どもたちは朝練をし、中休みも昼休みも遊びたいのを我慢して、楽器の練習をし、また音楽が得意でない子も練習に取り組む姿があること、これはパレードを応援してもらえる喜びや達成感を得るためには、本当に必要な努力なのだ、常に必要な努力なのだと書かれていました。

移杖式というものを拝見して、子どもたちの頑張りに感動し、また一小の伝統の力というのを感じました。

同日、教育委員会表彰にも参加させていただきました。市内の小中学生が活躍していることを賞賛してあげられるこういう機会があることは、とても子どもたちの励みになるのだろうと思いました。

3月18日の月曜日、小柳幼稚園の終業式に参りました。本当に久しぶりにかわいい園児の終業式ということで、見ていてほほ笑ましかったです。また、子育てする中では、親として初めて子どもの成長の節目の瞬間を見られるときなのだと思います。親としてはこれまで育てた喜びと、育ててくれた喜びとうれしきで胸がいっぱいになっているのだなと、卒園児のお母さん、親御さんたちの目には涙がいっぱいで、その節目のときをかみしめられていたなと思いました。私ももらい泣きをしてしまいました。

3月19日、五中の卒業式に参りました。前日の幼稚園の終業式とはうってかわって、義務教育を終える生徒たちの卒業式ということで、また保護者にとってはようやく一段落という使命もあるのでしょうか。でも、多分、私もよくPTA会長のときに挨拶をさせていただいたのは、子育てはこれからだし、それまでとは違う子どもの姿や言動に戸惑うこともあるので見守ってほしいということとか、幾つもの壁を乗り越えなければならないことがあるということと言ったことをちょっと思い出しました。また、五中は私のホームグラウンドでもあるので、卒業する子どもたちが生まれたところから知っていたなという子が卒業していく姿を見て、年月のたつ速さを感じずにはいられませんでした。また、そんな子どもたちを見ていたら涙があふれてしまいました。

その同日、夜なのですけれども、小中ではないのですが、府中東高校の校長先生からご案内をいただきまして、東高校のPTA会長をしていたということがありますが、府中東の和太鼓はすごいのです。いろいろな活動もしていて、全国の大会でも金賞をとったりとか、さまざまな大会で最優秀賞をとったりとか、フジテレビのドラマに出演したりとか。太鼓も板づきの太鼓ではなくて、持ってたたくようなこともあり、すごく私は感激する部だったのですけれども、府中の小・中学校には和太鼓クラブがたくさんあるので、どこかで東高の和太鼓のすばらしさを見せてあげられたら、高校生になったらすごいなという憧れの的になるなと感じました。

昨年の9月ですか、中高一貫の連携を図るようなことがあったと聞いていますが、部活動もそんな形で、中高一貫に向けて進められたらいいのかなと思いました。

そして、3月20日の水曜日は、中学生の東京駅伝大会に行っていました。委員になって、さまざまなところで子どもたちの本当に頑張る姿を見ることができるのは、私にとってもすごく刺激になってうれしい限りです。また、この駅伝大会も大きな感動をもらいました。女子の5位というのはすごいなと、快挙を成し遂げたなと思っています。また、開会式から閉会式まで参加させていただいたので、その感動の中にいられましたが、来年は練習会も見させてもらえたらなど、子どもたちと一体になれるかなと思ったほどでした。

ありがとうございます。以上です。

○委員（浅沼昭夫君） 浅沼が報告します。

2月20日水曜日ですけれども、府中特別救助隊発隊式に参列しました。まず、府中消防署で発隊式の式典が行われまして、小柳町に場所を移して救助訓練の様子を見学いたしました。交通事故で車に閉じ込められた状況を想定した救助訓練がありましたけれども、各種の道具を駆使して、チームが組織的に救助活動する様子を見ることができました。府中市にとって、市民生活の安全確保であるとか、安心感を与える存在になると思いました。今後、学校の教育活動にも、写生会等で一役かっただけのではないかなと思っています。

次に、2月22日ですけれども、第五小学校が東京都の平成24年度校務改善表彰を受けまして、三田村校長先生からご報告をいただきました。業務改善と教職員の資質の向上、その功績が認められたものであります。今後、こうした努力の成果が他校に波及して、府中市全体の教育を押し上げてくれるものと思っています。

また、第47回東京都学校歯科保健研究大会で、小柳幼稚園教諭の新井尚子主任が、東京都学校歯科保健功労者として、第1回目だそうですけれども、個人表彰を受けたということで報告をいただきました。同時に、府中市の小学校22校、中学校2校、幼稚園2園が、学校歯科保健優良校表彰を受けたということでございます。さらには白糸台、若松、四谷、新町の各小学校の児童が歯の作文で表彰されたという報告を聞いております。

それから、3月8日午後ですけれども、本宿小学校で行われましたジャガイモの植えつけを参観しました。松本委員さんにご尽力をいただきまして、また、JAのご協力もありまして、給食センターの担当の方も参加して行われました。児童の体験学習実施においては、さまざまな配慮が必要ですが、イラストでの説明であるとか、農機具の試乗など、松本委員の工夫によって大変充実した内容となりました。今後、ジャガイモが芽吹き、成長する姿は、子どもたちが驚きと生命力の不思議さを実感できる場になるのではないかと。また、そうしたことが、その体験が教室での学びにつながっていくと思っています。収穫を給食の食材にさせていただけ

るということですので、楽しみにしています。今後も除草、あるいは土寄せなど大変お手数をかけるとは思いますけれども、松本委員、どうぞよろしく願いいたします。

それから、3月19日、府中第一中学校の第65回卒業式に出席をいたしました。教育委員会のお祝いの言葉を述べてきましたけれども、落ちついた雰囲気の中で、卒業生はもちろん在校生もしっかりと大変立派な態度で参加しておりました。伝統の合唱を織り込みながら式が進められ、久々に中学校の卒業式のよさを実感して参りました。

それから、3月20日、東京駅伝になりますけれども、私が印象に残ったのは、招待参加した南三陸の中学校の生徒のことが大変印象深く感じました。十分な練習ができなかったと聞いておりますけれども、会場から大変大きな声援が送られまして、心から応援しているという姿が見られました。先ほどご報告もありましたけれども、会場の設定がちょうど順位が入れかわるという場面がうまく演出されているような配置がありまして、駅伝のよさを体験できました。各中学校の代表選手、それから、総監督の第三中学校の谷合校長先生初め、監督、コーチの先生方、応援に駆けつけていただきました皆様方にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

そして、最後ですが、先般、委員の皆様から教育委員会訪問等でなくて、さらに学校に足を運ぶ機会をふやして、学校現場の様子や先生方、あるいは児童・生徒との意見交換をしたい旨のご意見がございました。そこで早速手始めに、4月13日土曜日に予定されています第60回生徒会リーダー研修会にご出席いただけたらと思います。この研修会は、府中市独自の取り組みでありまして、年に2回、4月と9月に行われているものであります。

目的ですが、生徒会のリーダーの資質を高め、生徒会活動の充実、交流を通しての連携、さらには生徒会担当の先生方の交流と指導力の向上を目的として続けられてきました。ご都合がございましたらご出席いただき、いじめの撲滅など、学校生活の充実のために、生徒会あるいは生徒がどのように考え、行動しようとしているかなどをごらんいただけたら、大変うれしく思います。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） では、崎山から報告いたします。

他の委員の方々と重複する行事は避けて2つ報告いたします。

1つ目は、現在流行している風疹についてです。国立感染症研究所感染症情報センターは、3月19日に風疹の患者報告数が、1月1日から3月30日までの累計で1,656名になったと発表しました。風疹について発生患者の全員の登録制度が始まった2008年以降で、最悪の流行だった昨年、2012年の1年の報告数が2,353名だったことを考えると、まだ3月ですけれども既にその7割に達しており、大流行が始まっていると考えられます。

流行の中心は予防接種制度の変更により、接種を受けていない人が多い20代から30代の男性で、首都圏を中心に感染が広がっていることがデータからわかります。実は本日、崎山小児科を受診された1歳のお子さんが風疹に罹患しており、感染源は父親で学校の先生でした。当然、学校の教職員にも20代から40代の男性が多く、職場での感染が広がる危険性があります。さらに問題なのは、同僚である女性教職員が妊娠している場合、女性に抗体があつたとしても、その免疫能力が不十分であれば、妊娠中の胎児に先天性風疹症候群による心臓の奇形、視力、聴力障害が発生する危険があるようです。これから春休みになって学校がお休みになり

ます。この時期にぜひ、20歳以上の男性職員は風疹の予防接種を受けるように努力していただきたいと思います。既に抗体がある人が予防接種を受けても害はありません。風疹ワクチンは流通量が少ないので、医療機関で入手困難であれば、麻疹風疹混合ワクチンを受けていただいても結構です。

また、潜伏期が2～3週間であることを考えると、新学期以降の流行も懸念されます。4月以降の対応策についても検討しておく必要を感じました。

2つ目の報告です。本日午前中、府中市内にある東京都立武蔵台学園小学部の卒業式に来賓として出席し、お祝いの言葉を述べてまいりました。武蔵台学園は武蔵台養護学校、武蔵台特別支援学校が名称変更した学校であり、主に知的障害の子どもたちが学ぶ学校で、崎山小児科のかかりつけの子どもも何人も在籍しています。府中市立の普通学校の卒業式でも、子どもたちの成長を感じるものですが、武蔵台学園にいる子どもたちはさらに特別な支援が必要である子どもたちばかりです。一人一人が校長先生の前に進んで、卒業証書を受け取る、ただその姿を見るだけで、学校の教職員、保護者の努力で着実に成長している姿を目の当たりにできる、感動的な卒業式でした。

以上です。

では、これもちまして、平成25年第3回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。



午後2時56分閉会